

## 研究・調査報告書

| 報告書番号  | 担当                |
|--|-------------------|
| 515  | 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学 |
| <b>題名（原題／訳）</b>  |                   |
| Alcohol and risk of breast cancer in Mexican women.<br>メキシコ人女性におけるアルコールと乳がんリスク   |                   |
| <b>執筆者</b>   |                   |
| Beasley JM, Coronado GD, Livaudais J, Angeles-Llerenas A, Ortega-Olvera C, Romieu I, Lazcano-Ponce E, Torres-Mejia G.  |                   |
| <b>掲載誌（番号又は発行年月日）</b>  |                   |
| Cancer Causes Control. 2010 Jun;21(6):863-70.  |                   |
| <b>キーワード</b>   |                   |
| 乳がん, アルコール摂取量, 葉酸, ビタミン B <sub>12</sub> , メキシコ人女性, ヒスパニック  |                   |
| <b>要 旨</b>   |                   |
| <p><b>目的：</b><br/>メキシコ人女性におけるアルコール摂取量と乳がんリスクの関係はほとんど知られていない。ヨーロッパでは、アルコール摂取と乳がんの関係は葉酸とビタミン B<sub>12</sub> で調整されるとの報告があるため、本研究ではメキシコで症例対照研究をおこない、葉酸の乳がん抑制効果を検討した。</p> <p><b>方法：</b><br/>研究デザインはメキシコの一般住民を対象とした症例対照研究で行い、対象は 35-69 歳の乳がん患者 1,000 人とした。対照として性、年齢、宗教、居住地域、保険種別を合わせた者 1,074 人をリクルートした。乳がんリスク評価のために、頻度法を用いて最近の食事内容を聞き取り調査した。条件付きロジスティック回帰分析を用いてオッズ比と 95%信頼区間を推定した。</p> <p><b>結果：</b><br/>生涯の非飲酒者の割合は、症例で 57%、対照で 45%だった。生涯非飲酒者に対する飲酒者の乳がん罹患のオッズ比は高かった（調整 OR=1.25, 95%CI=0.99-1.58）。しかし、アルコール摂取と乳がんの関係は葉酸摂取量と交互作用があり（交互作用の p 値=0.04）、葉酸摂取量の低い者（調整 OR=1.99, 95%CI=1.26-3.16）は、葉酸摂取の高い者（調整 OR=1.12, 95%CI=0.69-1.83）に比べて乳がん罹患のオッズ比が高かった。</p> <p><b>結論：</b><br/>我々の報告は、アルコール摂取は乳がんリスクを高めるという、これまでの知見を支持した。葉酸の摂取不足は、飲酒している女性の乳がん罹患リスクをさらに高める。</p> |                   |